

世界へ飛び出せ！

感動
2部

祝北谷高校48期生 卒業特集③

卒業生あいさつ 三つの拍手

今回は前号でお届けした卒業式の第2部「三つの拍手」で語られた内容を紹介합니다。この取り組みは北谷高校卒業式での恒例となっていて、卒業式で感動の涙を誘う北谷高校の素敵な伝統です。卒業生の感謝の思いが込められたメッセージ、卒業式に参加できなかった1年生にもぜひ知ってもらいたくて掲載しました！

〈友人へ〉：平良 祭夏さん(桑江中出身)

期待と不安を胸に抱え迎えた入学式から、今日までの3年間は本当にあっという間でした。

私たちの学年は、正直に言うといろいろやらかす人がいたり、問題を起こすことも多い学年で、先生たちを困らせたことも、数えきれないくらいあったと思います。それでもそれ以上に楽しい思い出がたくさんあって、振り返るとこの学年でよかったなとか本当に楽しかったなって素直に思えるのが、私たちの一番の強みだと思います。同じ部活動の同級生や、クラスが違って関わってきた友達は、いつも自然に声をかけてくれて、気づけば当たり前のように支えてくれる存在でした。私が何かを任せられたときも、一人で背負わせるんじゃなくて一緒にやろうって同じ目線で動いてくれて、責任があってもプレッシャーだけじゃなくて、普通に楽しむことができました。そんな仲間に出会えたことが、この学年で過ごした一番の宝物です。みんな、本当にありがとう。これからはそれぞれ別の道へ進んでいくけど、ここで過ごした日々を忘れず、それぞれの場所で自分らしく輝いていこうね。北谷高校48期生、本当にありがとう。そして、卒業おめでとう。

友達へ、感謝の気持ちを込めて拍手を送りましょう。

卒業生、拍手！

〈先生へ〉：小橋川 修士さん(北谷中出身)

まずは、この3年間お世話になりました。朝早くから学校に来て授業の準備など私たちのためにしてくれたことへのありがたさは数えきれないほどあります。進路活動でも最後までサポートしてくれてとても心強かったです。今こうやって無事に卒業できるのも、友達や両親はもちろんですが、先生方が支えてく

ださったおかげだと思っています。その先生方のおかげで高校生活で良くも悪くも沢山の思い出をつくれたと思っています。

正直私たち48期生は1番先生方に迷惑をかけてきたと思います。常に反抗したり、本当に高校生とは思えないくらいのがまを言ったりしてきて、私たちのことを本気で嫌だったと思う時期もあったと思います。

けれど、先生方はそんな私たちを見捨てず生徒一人ひとりに真剣に寄り添ってくれたり、いろんな面でサポートしてくれたり、厳しく温かい指導をしてくださいました。私は先生と楽しく笑いあい、たわいもない会話をする毎日がとても楽しかったです。先生方とも今日この日をもって会えなくなるのが寂しいですが、もしどこかで再会したときには立派になって少しは大人になった姿を見せれるように私たちは頑張っています。再会したときにはご飯でも連れて行ってください。

先生方、この3年間本当にありがとうございました。

卒業生、拍手！



〈保護者へ〉：仲泊 樹頼さん(桑江中出身)

お母さんへ

正直高3になってからたくさん大変な思いをしたね。去年から家族の環境も変わり、7人兄弟の長男として、弱音を吐く余裕なんてなかった。野球部の主将としても、家では長男としても、「俺がやるしかない」って自分に言い聞かせてきました。それでもどんなに疲れていても「行ってこーい！」「おかえり」って笑ってくれたお母さん。その背中があったから、心が折れそうになっても立ち上がれました。最後の夏、ベスト16まで行けたのは、俺一人の力じゃない。仲間、指導者、そして何より家族の支えがあったからだと思っています。当たり前みたいに過ごしてきた毎日が、どれだけ特別だったか、今やっと分かりました。お母さん、本当にありがとう。これからは少しずつでも、俺が支える番です。胸張って卒業します。だからこれからまだまだ元気で、ずっと長生きしてください。

保護者へ、感謝の気持ちを込めて拍手を送りましょう！

卒業生、拍手！

